

大支援研ニュース

特別支援教育

平成21年11月25日発行
大阪府支援教育研究会
会長 草竹 幸一
(阪南市立波太小学校)

次号は
12月中旬に
発行予定

<http://daishienken.visithp.com/>

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。

jimukyoku2009@daishienken.visithp.com

アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。

大阪府支援研役員総会予定 本部・支部役員の方はご予定ください。

第3回平成22年 1月14日(木)午後3時～5時 **アウィーナ大阪 3階 生駒の間**

冬季研修会のご案内 **二次案内添付**

平成22年(2010年) 1月30日(土)午前10時30分～午後4時(10時 受付開始)

場所 たかつガーデン

内容 午前に3講座、午後に4講座を開きます。午前・午後各1講座の参加が基本ですが、どちらか1つだけの講座の参加も可能です。定員を超えた場合には、ご連絡いたします。

午前の部 午前10時30分～12時30分

(A) 支援のためのアセスメント

(伊丹昌一氏)

(B) パーチャルAD/HD

(熊野健司氏)

(C) アクセシビリティ、パワーポイントの活用

(大島友子氏)

午後の部 午後2時～4時

(D) 自立活動の指導の実際

(貴志英彦氏)

(E) ICFの基礎・基本とその活用

(斉藤博之氏、森下亮氏、達 直美氏)

(F) 子どもの性を考える

(中村昭代氏、大橋一予氏、井上ひとみ氏)

(G) 自閉症教育プロジェクト研修

(松本恵美子氏)

④ 申し込み <http://daishienken.visithp.com/kenkyukai/toki2009.htm> にて

氏名、所属校、参加希望講座、連絡先を必ず明記してください。

大阪府教育委員会支援教育課、大阪府教育センター支援教育研究室との懇談会が予定

大阪府支援教育研究会では、研究会団体としての立場を大事にしつつ、大阪府教育委員会、大阪府教育センターと協力していくため、毎年、特別支援教育に関わるいくつかの項目に関し、意見交換ができるよう、懇談会を行っています。

他団体記事紹介 (他団体が主催の講演会・研修です。問い合わせ等は当該団体に直接お願いします。)

第26回 大阪ムーブメント教育 研究会のご案内 **案内添付**

ムーブメント教育の日本の第一人者である小林芳文先生がこられます。(JAMET 会長・和光大学教授)

日 時 平成21年12月19日(土) 14時から16時30分

場 所 大阪教育大学 附属特別支援学校

内 容 公開ムーブメント子ども教室 小林芳文先生による講演・実技

参加費 2,000円 持ち物 体育館シューズ 動きやすい服装

平成21年度実践記録論文の募集について 大阪特別支援教育推進連盟

A4版で本文を5000字程度(ワープロ可)写真、グラフ、図等の挿入も可

しめきり 平成22年1月15日(金) 優秀作品には、賞状及び記念品を贈呈します。

詳しくは、先月添付の案内をご覧ください。

大阪視覚障がい教育研究会 第3回研究会(定例会)が行われました。

平成21年11月24日(火) 午後2時から午後5時 大阪市立本田小学校にて

実践・研究発表、研究協議 大阪市立視覚特別支援学校または支援先・大阪府立視覚支援学校など
全国及び大阪の視覚障がい教育研究について(調査報告)

情報交換会

府内の弱視学級設置校の関係教職員、大阪市立視覚特別支援学校及び大阪府立視覚支援学校の教職員、その他、府内の視覚障がい教育に関心をお持ちの教職員等の方々へ

今回、大支援研ニュース発行のタイミングが遅れ、期日前に紹介できず、すみませんでした。定例で行われているとのことですので、上記の対象の方、今後はできる限り、間に合うように紹介いたしますので、よろしく参加をお願いします。

NPO 法人 東大阪発達障害支援の会 ピュア主催

特別な支援を必要とする子どもたち～発達障害の理解と支援の方法

講師 米田 和子 先生 プール学院大学 特別支援アドバイザー

日時 平成21年12月6日(日) 午後1時半～4時(受付1時より)

場所 東大阪市男女共同参画センター イコーラムホール

参加費 1000円 当日徴収いたします

申込方法 FAX 06-6781-1197または shien-pure@hct.zaq.ne.jp まで件名「講演会申込」として住所、氏名、電話番号、所属(保護者・教師等)を記入の上お申し込み下さい。

締切 11月30日(月) 定員になり次第締切(定員244名)

案内は <http://www.pure-higashiosaka.com/start>

平成21年(2009年)11月25日

各 学 校 長 様
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会 長 草 竹 幸 一

冬 季 研 修 会 の ご 案 内 (二次案内)

晩秋の候、先生方もご活躍のことと存じます。

9月に一次案内を出しました大阪府支援教育研修会研修部主催による冬季研修会を以下の要項で実施いたします。ふるってご参加いただきますようお願いいたします。なお、午後の部の講座の1つは、自閉症教育プロジェクトの研修会として実施いたします。

記

- ① 日 時 平成22年(2010年) 1月30日(土)
午前10時30分～午後4時(10時 受付開始)
- ② 場 所 たかつガーデン
大阪市天王寺区東高津町7-11 Tel (06)6768-3911
(近鉄 大阪線・奈良線 大阪上本町駅 北東300m)
(地下鉄谷町線・千日前線 谷町九丁目駅 北東700m)
- ③ 内 容 午前3つ、午後4つの講座を開きます。内容は別紙をご参照ください。
午前・午後各1講座に参加していただくことを基本としますが、どちらか1つだけの講座の参加でもよろしいです。
会場の定員を超え、お断りする場合には、ご連絡いたします。

午前の部 午前10時30分～12時30分

- | | |
|-------------------------|---------|
| (A) 支援のためのアセスメント | (伊丹昌一氏) |
| (B) バーチャルAD/HD | (熊野健司氏) |
| (C) アクセシビリティ、パワーポイントの活用 | (大島友子氏) |

午後の部 午後2時～4時

- | | |
|--------------------|----------------------|
| (D) 自立活動の指導の実際 | (貴志英彦氏) |
| (E) ICFの基礎・基本とその活用 | (斉藤博之氏、森下亮氏、達 直美氏) |
| (F) 子どもの性を考える | (中村昭代氏、大橋一予氏、井上ひとみ氏) |
| (G) 自閉症教育プロジェクト研修 | (松本恵美子氏) |

④ 申し込み方法 できるだけ、大支援研のHPから、申し込みをお願いします。

<http://daishienken.visithp.com/kenkyukai/toki2009.htm>

氏名、所属校、参加希望講座、連絡先を必ず明記してください。

- ☆ FAXで申し込みされる場合、下の用紙をご利用ください。
この場合、1週間以内に受付可否をFAXで送らせていただきます。
もし1週間以上届かない場合には、ご連絡ください。
- ☆ 研修内容についてのご質問やご要望がありましたらご記入ください

⑤ 問い合わせ先 大阪府支援教育研究会 書記（研修部担当） 佐藤正幸
摂津市立第四中学校 TEL 06-6349-6181

FAX 06-6349-6184

.....

申 込 用 紙 ()月()日	
送 信 先	摂 津 市 立 第 四 中 学 校 佐 藤 正 幸 宛
申 込 者	() 様
学 校 名	() (市・町・村) () 学 校
FAX 番号	()-()-()
希望講座を チェック して下さい	午前 (A) 支援のためのアセスメント () (B) バーチャルAD/HD () (C) アクセシビリティ ()
基本は 午前1つ 午後1つ です	午後 (D) 自立活動の指導の実際 () (E) ICF基礎基本と活用 () (F) 子どもの性を考える () (G) 自閉症教育プロジェクト ()

おそれいりますが、FAX以外の連絡先をお書きください。
TEL番号 () — () — () (学校・自宅・携帯)
またはメールアドレス () (学校・自宅・携帯)

大阪府支援教育研究会 2009年度冬季研修会

講座の内容

午前（A）一人ひとりのニーズに応じた支援のためのアセスメント

伊丹昌一 氏（大阪府教育センター 支援教育研究室）

アセスメント（子ども理解）の概説と最新の心理アセスメントツール（DN-CAS、WISC-IV）についての概要、DN-CASを用いた支援事例について発表していただきます。

午前（B）バーチャルAD/HD AD/HDのある子どもの世界を疑似体験

熊野健司 氏（ヤンセンファーマ株式会社 マーケティング本部）

「バーチャルAD/HD」は、「見えにくい障害」とも言われてきたAD/HDの病態や症状、当事者である子どもたちの心情を理解するためのツールとして制作されました。周囲の人間が、当事者の思いのほどを理解し、適切な支援へとつなげていくことを目的として、医療の専門家による監修に加え、当事者の声なども参考にして制作されたこの装置について発表していただきます。

午前（C）アクセシビリティとパワーポイント

特別支援教育における PowerPoint の活用と Windows 7 のアクセシビリティ機能
大島友子 氏（マイクロソフト株式会社 技術統括室）

文字の読み書きや認知に困難がある子どもなどの教育に利用いただける PowerPoint の活用方法および、障がいのある方を含めたすべての方がパソコンを使いやすくするためのアクセシビリティ機能につきまして、紹介していただきます。

また、2009年10月に発売された最新OS、Windows 7の概要とアクセシビリティ機能についても、Windows XPなどとの比較を交えながらお話しされるとのことです。

午後（D）自立活動の指導の実際

貴志英彦 氏（大阪府教育センター 支援教育研究室）

支援学校・支援学級では社会の変化・児童生徒の重度・重複、多様化などの様々な対応が迫られています。更に本年度は、支援学校の学習指導要領改訂において自立活動の内容も見直され、子ども一人ひとりのニーズに応じた適切な支援の充実が期待されています。

従来から自立活動は、「個別指導計画」に基づき様々な指導が行われてきました。指導要領の各領域、区分に応じて目標を明確にした指導は大切ですが、それらを柔軟に捕らえつつ実践につなげていくことも大切であるといわれています。今回、動作の学習（動作法）をとりいれつつ、自立活動の実践を様々紹介しながらお話していただきます。

午後（E） **どのように子どもを理解し、どのように指導・支援につなげるか**

～ I C F の基礎・基本とその活用～

齊藤博之 氏 （山形県立上山高等養護学校教諭）

森下 亮 氏 （和歌山県立南紀支援学校教諭）

達 直美 氏 （三重県立城山特別支援学校草の実分校教諭）

I C F を特別支援教育の文脈で使う、という観点で次のような内容をお話しいたします。

I C F の基礎・基本 I C F を関連的、総合的、多角的、多面的に理解する。

I C F 活用の観点 I C F の枠組み、——「している」と「できる」

I C F の活用 I C F 関連図作成ワークショップ

なぜ I C F を使うのか、I C F で何をするのか。

午後（F） **子どもの性を考える** —男の子・女の子の親・支援者とともに—

中村昭代 氏 （大阪手をつなぐ育成会 相談支援専門員）

大橋一予 氏、井上ひとみ氏 （大阪自閉症協会）

障がいの有無に関わらず性の問題が起きるとしつけや指導がなされていないのではと問題視されがちです。発育、発達を理解して幼少期から基本的な生活習慣をまず身につけることから始めませんか。のんき、根気、元気をモットーに「丁寧に、繰り返し」生きる力をつけることに取り組んでみましょう。それが性の指導の基本となります。このような内容でお話しいたします。

午後（G） **自閉症教育プロジェクト 研修会** 『青年期・成人期を見通して考える現在の課題』

松本恵美子 氏 （神戸市立知的障害者通所授産施設たまも園園長）

青年期や成人期になってどのような社会的スキルが必要となるのでしょうか。現在の子どもの期での取り組みはどのようにそれらの力を培っていくものとなっていくのでしょうか。あるいは、就学前期や小学校の低学年、高学年、中学校、高等学校などのそれぞれの生活年齢の段階で求められる力やそこでの目標設定はどのように考えていけばよいのでしょうか。幼児期から成人期までの一貫した成長を支援していく中で、それぞれの成長段階で押さえておくべきポイントについてもお話しいたします。

第26回 大阪ムーブメント教育 研究会のご案内

大阪ムーブメント教育研究会（JAMET 大阪支部）
代 表 金 川 朋 子

ムーブメント教育は、1977年に小林芳文博士（和光大学教授）によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育を基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げていきたいと考え、2005年10月から大阪でも研究会をスタートしました。研究会の活動を通して、ムーブメント教育が大阪を中心として西日本でも大きく広がり仲間のつながりが生まれてきています。そして、毎年12月には、小林芳文先生が大阪の仲間に直接指導して頂ける機会をいただいております。今年も貴重な機会を設けることができました。

ムーブメント教育に興味をもたれている方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も仲間でおられたらぜひお誘いください。

☆ 日 時 :平成21年12月19日(土) 14:00 ~ 16:30

☆ 会 場 :大阪教育大学 附属特別支援学校
(大阪市営地下鉄谷町線 喜連瓜破駅下車 徒歩5分)

☆ 参加費 :2,000円(当日 徴収いたします)

☆ 内 容 : 公開子ども教室
小林芳文先生による実技・講演

☆ 申し込み先及び方法

:JAMET 大阪支部 FAX 072-367-0713

:E-MAIL kogorou123@nifty.com

:下記の申込書にご記入の上FAX、もしくはメールでお申し込みください。

☆大阪ムーブメント教育研究会ホームページ <http://homepage2.nifty.com/osaka-movement/>

☆ その他 ・動きやすい服装でご参加ください。

・問い合わせ等 JAMET 大阪支部 高井照隆 090-9995-5223



《第23回研究会の様子》

☆ ムーブメント教育 研修会(12月19日) 参加申し込み

ご氏名(ふりがな)	所属名	連絡先
		TEL・FAX
		E-MAIL

*複数枚必要な場合は、おそれいりますが、コピーをしてお申し込みください。